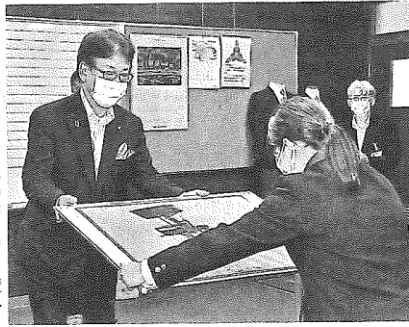


# 学校生活、卓球台使って

## マルエイと 岐阜清流高等特支に贈る 大垣共立銀



生徒にパネルを手渡す澤田栄一社長。岐阜市芥見南山、岐阜清流高等特別支援学校

LPガスの販売などを手掛けるマルエイ(岐阜市入舟町)と大垣共立銀行は17日、同市芥見南山の岐阜清

流高等特別支援学校に、卓球台2台と自動球出し機1台を寄贈した。

発行手数料の一部を物品購入に充て、指定の団体に寄贈する同行の「OKB地域応援私募債(拍手喝債)」を活用した。障害者の就労支援に取り組むマルエイソーシャルサポートで卒業生の受け入れなどをしている縁から、同社が同校を選んだ。

澤田栄一社長らが同校を訪れ「心技体を磨き、素晴らしい学校生活を送っても

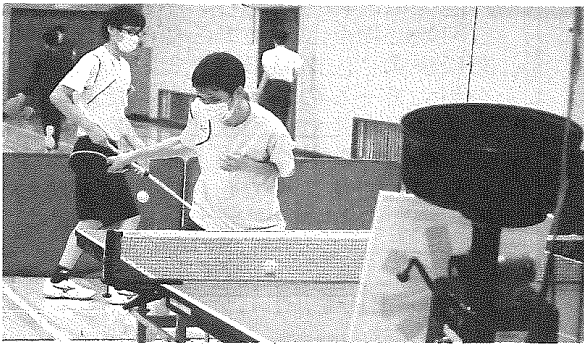
らえたら」と話し、寄贈品の写真パネルを生徒会長の3年松並牧穂さん(17)に手渡した。青山孝校長は「生徒が活躍する姿でお返ししたい」と述べた。卓球部の活動や体育の授業で使用する。(大賀由貴子)

### 特支学校に卓球台を 岐阜のマルエイ贈る

#### OKB私募債活用

大垣共立銀行(OKB)と、LPガス販売会社「マルエイ」(岐阜市)は十七日、地域応援私募債「拍手喝債」を活用して、県立岐阜清流高等特別支援学校に卓球台などを贈った。

拍手喝債は企業が発行する私募債の手数料の一部を活用して、地域や学校振興などに充てる備品をOKBが購入する。OKBは前会長の故土屋嶮さんが同校の



校歌を作詞。また、マルエイとOKBは障害者の就労支援に取り組んでいる縁で、贈呈を決めた。

備品は卓球台二台とピンポン球を送り出す練習用マシン。学校の授業と部活動で活用する。

この日は早速、卓球部員二十二人が新品の台とマシンを使い、練習に励んだ。写真。青山孝校長は「生徒たちが活躍する姿で恩返ししたい」と感謝を語っていた。

(向川原悠吾)